

地域協議会会長と総務常任委員会委員との意見交換会（記録）

日時：令和4年4月3日（日）

午後2時00分～午後4時00分

場所：春日謙信交流館 集会室

○出席者

グループ	総務常任委員会	地域協議会	
		地区	氏名
A	滝沢一成委員長 宮越馨委員	高田	本城文夫会長
		新道	船崎聡会長
		金谷	川住健作副会長
		春日	太田一巳会長
		諏訪	川上久雄会長
		津有	藤本孝昭会長
		三郷	竹内浩行会長
		和田	宮崎雅彦副会長
B	江口修一副委員長 宮川大樹委員	高士	青木正紘会長
		直江津	中澤武志会長
		八千浦	仲田紀夫会長
		保倉	丸山隆夫会長
		北諏訪	白木朝雄会長
		谷浜・桑取	坪田剛会長
C	橋爪法一委員 高山ゆう子委員	安塚区	松苗正二会長
		浦川原	藤田宏禎会長
		大島	丸田新一会長
		牧	西山新平会長
		柿崎	吉井一寛会長
		大潟	君波豊会長
		頸城	上村闈一会長
D	栗田英明委員 池田尚江委員	吉川	山岸晃一会長
		中郷	竹内靖彦会長
		板倉	平井達夫会長
		清里	山川正平副会長
		三和	高橋鉄雄会長

・飯塚義隆議長

・広報広聴委員会：平良木哲也委員（司会）、安田佳世委員（記録）

1 議長挨拶

飯塚義隆議長

2 委員長説明

滝沢一成委員長

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた日程から延期になったことをお詫び申し上げます。
- ・地域自治・住民自治、地域協議会、総合事務所に関する提言書案を作成しているが、地域協議会の皆さんの声をお聞きしたい。どんなことでもよいので、ご意見をいただきたい。

3 グループごとの意見交換

- ・別紙「地域協議会会長 意見交換会 まとめ」のとおり

4 全体会議

(1) 各グループ発表

■総務常任委員会委員による各グループでの意見交換の要点発表

【Aグループ】（発表者：滝沢委員）

- ・費用弁償はもっとしっかりするべきだという考えが多かった。
- ・地域独自計画を作っていくことには概ね賛成であった。それに紐づく地域の独自予算は、行政がしっかりとした体制で各区を支えることが必要である。
- ・地域活動支援事業をやめることには概ね賛成であった。一方で、地域活動支援事業は今後もあった方がいいという意見もあった。
- ・公募公選制は全国に誇るべきやり方なので、残すべき。
- ・地域協議会が今のままで存続価値があるのか。住民自治の核となるものであるが、しっかりできているのか、ということを考えなくてはいけない。町内会長協議会と地域協議会の委員の重ね方や、地域協議会は何のためにあるかを考えなくてはいけない。
- ・地域協議会委員になった方には、スキルアップのための学ぶ場が必要である。視察等に予算を使うべきではないか。
- ・色々な世代がいるような地域協議会にしなくてはいけない。行政がしっかり支えていくことが必要である。

- ・旧町村の 13 区と合併前上越市の 15 区は同じ土俵で語れないだろう。もともと町村だったところがやる協議会と合併前上越市の 15 区では、成り立ちや土台が違うのではないか。今後地域の予算を作れるかは難しい。

【Bグループ】（発表者：江口委員）

- ・提言書案は理解できないところもある。これまでの研究結果を検証していないのではないか。クォータ制やガバナンスを取り上げるのはおかしい。
- ・地域活動支援事業は続けてほしい。
- ・合併前上越市は学校エリアを考えると見直しが必要なのではないか。公募公選制は必要だと思う。
- ・地域協議会委員と若い人たちとの意見交換が必要。
- ・将来の地域ビジョンを作ることは協議会では難しい。
- ・地域予算を自分たちで組めないと考えているところが多い。行政からのサポートが必要であると考えている。
- ・地域協議会委員について、有償を希望する協議会が多かった。

【Cグループ】（発表者：橋爪委員）

- ・諮問答申の在り方について、行政側が決めてかかっているのでは。地域協議会で意見しても、市に聞いてもらえない。市長や議会に声が届いていないのではないか。
- ・令和 4 年 1 月 6 日に開催された地域協議会会長会議での市長の発言について、しっかりとした文書を作って提案してもらいたい。
- ・現状の費用弁償では誰も手をあげない。この状況のままでは公募公選制が崩れてしまう。
- ・地域協議会が出した自主的審議の意見書を大切に扱ってもらいたい。
- ・地域活動支援事業については、廃止とされているが対案がない。地域活動支援事業は有用であったと思う。事業について、功罪もあるが良い面が大きい。今後も続けてほしい。
- ・地域自治区制度について、もっとしっかり勉強して欲しい。平成 19 年の都市内分権の研究結果を参照してほしい。

【Dグループ】（発表者：池田委員）

- ・地域協議会として地域のリーダーが必要である。リーダーは地域外の人でもいい。今後を見据えて若い世代への引き継ぎも大切だと思う。
- ・委員のなり手がいない。交通費 1,200 円の費用弁償だけでは無理。
- ・地域活動支援事業について、廃止に当たって残すべきものは通常予算での対応をするので申し出てくれと言われているが、どうするのかわからない。
- ・地域独自予算について、令和 5 年度予算に間に合うようにと言われても、各区のビジョンが定まっていない。市が考える地域独自予算の具体的な中身が見えない。
- ・地域協議会で将来ビジョン、地区計画、プランなどをこれから整えるところなので、地域独自予算には間に合わないと考えている。
- ・行政（総合事務所）と市民の信頼関係が非常に重要である。
- ・集約よりも、地域に輝くものを残していくことが大事ではないか。

■参加者からの意見

中郷区地域協議会 竹内会長

- ・若い世代からは、地域協議会委員の報酬がどうなのかという話は出ていない。やりがいや、協議会を認知しているか、が問題だと思う。報酬を改めることで若い人が協議委員になるかという、違うと思う。

吉川区地域協議会 山岸会長

- ・合併時に約束された地域事業費が 6 年目で撤廃されたことにショックを受けた。地域独自予算という話が出てきたときに、「地域のことを地域で」ということが実現するのではと期待を持った。地域協議会を続けていくには、出すべきところにお金を出す必要があると思う。

大潟区地域協議会 君波会長

- ・提言書案の資料を読ませていただいたが、合併をしたことを否定するような内容であったことに市民としては戸惑いを感じた。平成 27 年の上越市地域協議会の一層の活性化に向けた検証結果報告書の中に、総務常任委員会が議論していることは大体網羅されている。地域自治を進める最前線に立つという提言も必要なのではないか。

(2) 委員長まとめ

- ・平成 27 年の上越市地域協議会の一層の活性化に向けた検証結果報告書は、委員会でも議論になっているので引き続き検証していきたい。
- ・地域協議会が市長の諮問機関であることから、議会と地域協議会での意見交換等を遠慮してきた部分もある。今日の意見交換会を踏まえて、これからは様々な議論を深めていきたい。